

高校生が
作った
ページ

高校生が 高額転売について考える

私たちが
編集しました!



【右】小嶋あかり(17)
【左】的場美帆(17)

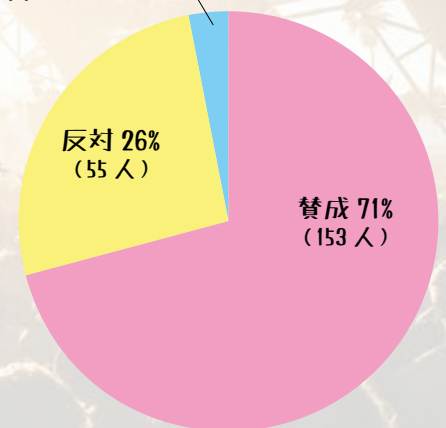
今、音楽業界では、コンサートのチケットを買い占めたり不当に価格を吊り上げて転売したりする個人や業者が横行する「高額転売」が問題となっています。私たち自身も、手に入らなかった大好きなアーティストのチケットが転売されているという事実を知り、この問題が身近にあると感じました。

そこで、今回はこの問題について音楽好きの私たち2人が考え、記事にしてみました。

まず、高額転売がどういうものなのかということを踏まえた上で、一般的に高校生年代はこの問題をどう捉えているのかということを知るために、青少年活動センターでアンケートをとりました。

「電子チケットに賛成か反対か？」

合計 214 人
どちらでもない 3% (6人)



◎高額転売の問題点

- ・組織的にチケットを買い占める一部の人たちのために、本当にチケットを欲しいファンが購入しにくい。
- ・転売サイトや SNS 上で、偽造チケットが売られるなどして犯罪の温床となっている！
- ・アーティストのファンが経済的負担を受け、コンサートを楽しんだり、グッズを購入したりできたであろう機会を奪われている！

◎高額転売への対策

- ・チケットを適正な価格で売買できるシステムがつけられはじめています。
 - ・ネット上のダフ屋行為（※1）を取り締まれない現行法規の改正を、アーティストやレーベルなど日本の音楽業界が政府や自治体に対して訴えている。
 - ・電子チケット（スマートフォンを利用して会場に入場できるサービス）の導入。
- ➡システムや運用が発展途上のため、トラブルもたびたび起こっている。

※1 転売屋の一種で、乗車券、入場券や観覧券などを転売目的で入手し、チケット類を買えなかった人や買いたい人に売りさばく者、または業者のこと。ダフ屋が不正に売りさばいたり、売りさばこうとする行為を、「ダフ屋行為」という。

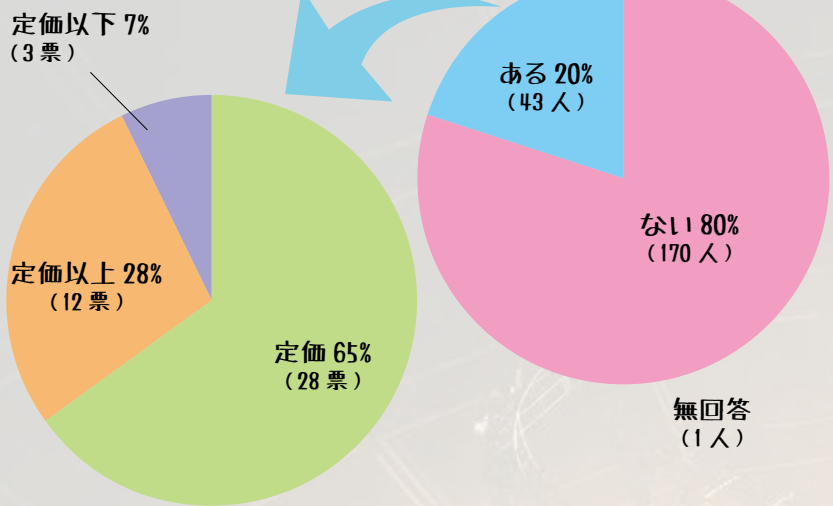
(引用サイト <https://www.wikipedia.org/>)

賛成は「楽で便利」「チケットを無くさないですむ」、反対は「電子チケットにしたところで」高額転売は無くならない」「システムがよく分からない」という意見が多く見られました。

しかし、電子チケットはここ数年の間で導入されたため、まだ仕組みを理解していない人が多いようです。また自身のスマホを貸して高額転売する者も出てきていることもあり、まだまだ課題が残っているように思われます。

合計 214 人

「転売サイトや SNS 等を利用して、 チケットを購入したことがあるか？」



体験談①

コンサートのチケットの公演日が一緒に行く予定の友達とかぶったので、SNSを通じて知り合った人に譲った。その際に、定価プラス相手の可能な範囲で料金を上乗せした。

↓相手の可能な範囲で料金を上乗せというところで、他に不正転売を行っている人とは比べると良心的だと思いましたが、料金の上乗せという点では、自分が頑張ったチケットだから、上乗せしたい気持ちも分からないこともないです。

体験談②

好きなアーティストのコンサートでグッズ販売の列に並んでいたところ、直前で商品を業者が大量購入したため、売り切れになってしまい、購入することができなかった。

↓大好きなアーティストのために頑張ってた遠方に行く人だっているんだから、そういう人たちの気持ちも考えてほしい！定価であろうが高額であろうが、もともと売るつもりで購入することには反対！

多くの人がインターネットを利用してチケットを購入した経験がないとのこと、音楽業界では大きな問題となっている高額転売ですが、一般的にはまだそこまで問題と認識されておらず、知られていないのではないかと感じました。その一方で、「ある」と答えた人が20%いたのは、SNSの普及や、転売サービスのコ

マーシャルなどの影響が大きいのではないかと考えました。

さらに、「ある」と答えた人を対象にチケットの購入額を調べたところ、定価での購入が一番多く、正価な価格での取引が多い一方で、次いで定価以上の取引が多く、実際に高額転売が身近に存在していることを実感しました。

まとめ

転売と言っても様々な種類があり、ネット上でのやり取りは目に見えているので通報できても、直接会って取引した場合は取り締まることが難しく、またどこからが高額となるのかの価値観には個人差があるため、ルールを作った取り締まるとしても、線引きが難しいと感じました。

電子チケットは現代の技術の産物で便利ですが、曖昧な点もあるため、その部分を明確にしていけるようにする課題があると思います。

不正な転売業者は様々な手を使っていて、なかなか減りません。そのような業者を減らすにはファンの行動が大切になってくると思います。たとえば、チケットびあが運営している「チケットレ（※2）」というサービスを利用したり、最近

芸能人がしているように、Twitterで「#転売NO」というハッシュタグをつけたりして自分の気持ちを投稿してみるのも良いのではないのでしょうか。

※2 エンターテインメントを楽しむ人たちのための公式チケットトレードリセールサービス。チケットは券面価格で出品され、個人同士の取引に運営会社が仲立ちするなど、売る方も買う方も安全に取引ができる。